



北陸新幹線ニュースレター特別号

北陸新幹線に係る意見交換および中央要請概要

(平成26年2月4日実施 ルポール麹町、国土交通省、財務省、自由民主党本部など)

➤ 県選出国会議員との意見交換を実施

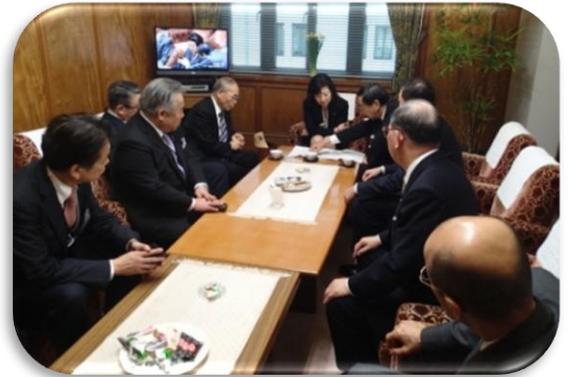
- ・ 2月4日（火）、北陸新幹線金沢・敦賀間の早期開業に向け、県選出国会議員と県、県議会、経済界による意見交換および中央要請を実施しました。
- ・ 意見交換において、知事は「与党PTは政府に対し、今夏までに整備スキームを見直すよう求めている。こうした動きを注視しながら、1年でも早い開業に向け全力で取り組みたい。」と決意を示し、工期短縮に向け、国会議員、県、経済界などが総力戦で当たることを確認しました。



意見交換の様子

➤ 敦賀までの早期完成・開業を強く要請

- ・ この後の中央要請では、知事が北陸3県に格差が生じないように、敦賀までの1年でも早い完成・開業を政府・与党、関係機関等に強く求めました。
- ・ 要請に対し、高木国土交通副大臣から、金沢開業から10年後の完成は考えられない、事務方には夏までの整備スキームの見直しに向け、検討を急ぐよう指示したという発言がありました。
- ・ また、町村与党整備新幹線建設推進プロジェクトチーム座長からは、工期短縮と敦賀以西ルートの一つの大きな課題があるが、まずは工期短縮に向けた取り組みをしっかりと進めることが大切だという発言がありました。



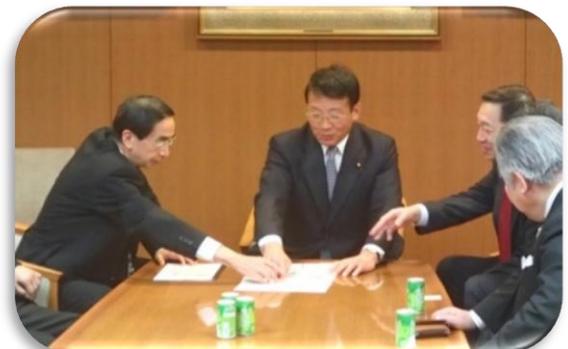
自由民主党 野田総務会長

➤ 鉄道・運輸機構に対して工期短縮を要請

- ・ 今回、鉄道・運輸機構に対する要請を実施し、石川理事長からは、工期短縮は皆さんと同じ思いであり、一生懸命やっていくという発言がありました。



財務省 葉梨政務官



自由民主党 三原副幹事長

(参考)要望書

北陸新幹線の早期完成・開業について

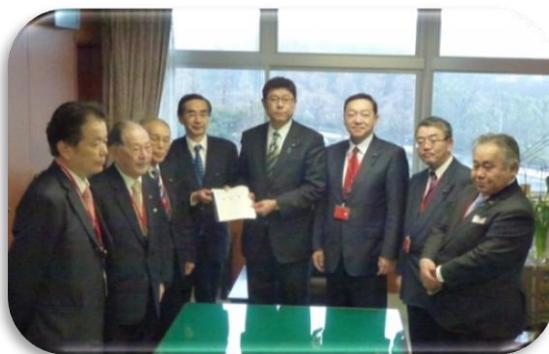
災害に強い国土づくりを進めるためには、東京・大阪間を日本海側でつなぎ、複軸型の国土構造を実現する北陸新幹線の整備促進を最優先すべきプロジェクトとして位置づけ、国土の強靱化を加速させることが重要です。

敦賀開業は、金沢開業から概ね10年強後の平成37年度とされ、認可から14年の工期を要するとされておりますが、完成を急ぎ、北陸地域全体に等しく開業効果を早期に発現させることが求められます。

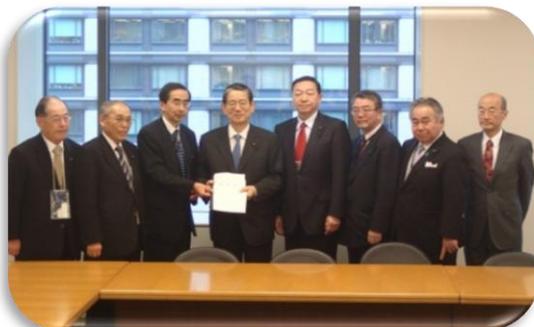
このため、与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームにおいては、工期短縮の結論を早急に取りまとめ、政府・与党が一体となり整備スキームを速やかに見直し、実行に移さなければなりません。

つきましては、政府・与党においては、敦賀までの工期短縮に必要な財源を十分確保し、次のことを実現されるよう要望します。

- 1 整備スキームを速やかに見直し、敦賀までの完成・開業を金沢開業から少なくとも8年、さらにこれを短縮して実現すること。
- 2 敦賀以西については、整備計画どおり若狭ルートの実現に必要な調査を速やかに進め、早期に決定し、大阪までのフル規格による早期全線整備を実現すること。



国土交通省 高木副大臣



与党PT 町村座長



自由民主党 高市政調会長



衆議院 梶山国土交通委員長



鉄道・運輸機構 石川理事長

○ 平成26年度整備新幹線予算案

【財源内訳】

国費	720億円	(706億円)
地方公共団体負担金	360億円	(353億円)
貸付料	480億円	(1,601億円)
合計	1,560億円	(2,660億円)

※ () 内は25年度当初予算

○ 平成26年度整備新幹線事業費線区別配分

線区		事業費(億円)
北海道新幹線	新青森・新函館(仮称)	524
	新函館(仮称)・札幌	120
北陸新幹線	長野・金沢	466
	金沢・敦賀	140
九州新幹線	武雄温泉・長崎	310
合計		1,560

<お問い合わせ先>

福井県北陸新幹線建設促進同盟会(事務局:福井県新幹線建設推進課)

TEL:0776-20-0298 Fax:0776-20-0729 E-mail:shinkansen@pref.fukui.lg.jp